

# 対談 薬剤師×薬学生

## 小児医療には未来がある！

子どもの幸せがエンドポイント

今年6月末、総務省は国勢調査抽出速報集計の結果、65歳以上の高齢者が初めて人口の4分の1を超えたと発表しました。では、その一方で15歳以下は12.7%と人口のたった1割にすぎないほどに減少したこと、そして、このたった1割の子どもたちを支えるために、各地で奮闘している薬剤師がいることをご存知ですか？今回は、この「小児医療」に焦点を当て、小児の最前線に行く国立成育医療研究センターの薬剤部長、石川洋一先生にお話をうかがいました（日本薬学生連盟2016年度副会長＝中川翼：慶應義塾大学3年、薬学教育委員会＝佐藤真由子：日本大学3年）



国立成育医療研究センター 石川洋一 薬剤部長

### 薬理学、薬物療法を学んでほしい

—まずはじめに、小児医療の特徴について教えていただきたいと思えます。

石川 小児科の特徴とは、まさに「小児の医療を行う」ということです。日本の添付文書を見ると、大人のことは書いてあるけれど、小児のことは書いていない、周産期のことも何だかよく分からない。そういう領域です。日本の小児科と海外の小児科は違うといった点が特色ですね。という

のも、日本は小児に対する勉強をあまりしていないんです。

これまで日本は戦後、長生きのための医療を一生懸命行ってきたわけです。そのために、まず国民皆保険制度を作りました。ただ、ある時、米国でも欧州でも海外では子どもがいなくなっていることに気がつきました。そこで、「大変だ。子どもの医療をしなければ国は滅びてしまう」と危機感を感じたんですね。

でも、日本はそう思わなかったの、放っておいたんです。癌とか糖尿病とか、生活習慣病の治療こそが人間を助けると信じ、添付文書も成人の薬についてあればよいと、今まで小児について考えずにやってきました。

薬科大学、薬学部で子どもの医療を教えずに「ジェネラル」な薬剤師を目指して教育しているのは日本だけなんです。ジェネラルな薬剤師と言ったら、新生児からお年寄りまで分かる人がジェネラルな薬剤師だと思いませんか？

でも、日本ではジェネラルな薬剤師という時は、大人の医療が全部分かる人のことを指していて、子どもとお母さんのことは分からなくてもジェネラルと言える。それを日本では誰も不思議だと思わないんですね。2000年頃から、欧米では子どもが使う可能性のある医薬品を開発する時は、子どもの臨床試験を実施しなければ販売させないというルールを作ったんです。これって不思議じゃないですか？

日本だったら大人の臨床試験だけですぐ発売できて、子どもの用量なんて関係ないと言えますが、そうしたら海外では発売できないんです。日本の製

薬企業も、国内で医薬品を発売する時は成人の臨床試験しか実施しないのに、海外で販売する時は子どもの臨床試験をやって売り出しているんです。米国や欧州の子どもは助けられるのに、日本の子どもを助けることはできないという不思議なことが起きているんです。

このように、大学で習ったことだけではなく、まずは歴史とかいろんなことを調べて、自分なりに今の医療を考える必要があると思います。私は一生懸命自分から調べて、初めて「日本の医療って少しズレているな」と気づきました。学んでいる内容が正しいのか、自分で調べて考える必要がありますね。そうして誰かが学んで、本当の事実を知っている人が、学んでいることを「違う」と発信し続けなければならぬと思っています。

全員が一度進んできた道を振り返って、昔のままの医療でいいのか考えた方がいいと思いますよ。私が大学生に講義をしに行くと、決まって「初めて小児を習いました」という言葉を聞きますよ。

—私も小児医療についてはまだ学

んだことがないです。小児領域と聞くと、何となく難しい領域というイメージしづらいですね…。

石川 そうです。だから、小児領域には近寄らないという選択肢が出てくるわけです。誰かがやってくれて、自分は癌領域をやろうみたいな。小児って聞く機会が少ないんです。だから、その難しいイメージを「違う」と主張する人も少ない。でも、このまま医療が進んでいけば医療は変化せず、お年寄り偏重になっていきます。「国民皆保険」と言っているのに、おかしいですよ。

ただ、最近では小児医療を共に育てていく仲間が増えてきました。「小児薬物療法認定薬剤師」という認定薬剤師制度を設けたのです。小児領域において、いま一番困っていることは、小児医療を実践している薬剤師がとても少ないという点です。

—小児医療専門病院は日本にどれくらいあるんですか？

石川 県立病院しかなく、全体で30

首都圏を中心に店舗展開中！



ミキ薬局



東京都：20店舗 神奈川県：5店舗  
埼玉・千葉・山梨・栃木県：各1店舗



「食と栄養」の情報発信もおこなう調剤薬局

「これからの薬剤師のはたらきかた」

株式会社メディカルファーマシー

本社：〒162-0056 東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011

人材開発部 saiyou@miki.ne.jp

ホームページ http://miki-ph.jp